

遂にバスにも！！

中西 陽介

中国では支払いの際、スマホ決済が普通になっており、この方面では日本よりもかなり進んでいます。特に微信(WeChat)と支付宝が二大決済方式となっています。お店にあるバーコードをスマホで読み取り、自分で金額を入力するタイプと、自分の個人バーコードをお店に読み取ってもらうだけのタイプもあります。

何かを買うたびに財布からお金を取り出してという手間がいらないのでとても便利です。お店側としても、お釣りを渡したりといった現金のやり取りが不要なので、非常に効率的だと思います。

スーパー、コンビニ、商店、タクシー、電車の切符購入などは勿論のこと、路上で野菜や果物などを売っている露天商でさえ使えるのは驚きです。

しかし、一方で問題もあります。例えば、寮の洗濯機を使うには一回4元かかるのですが(山西大学商務学院寮)、専用アプリのスマホ決済でのみ支払い可能で現金は使えません。中国の銀行口座や電話番号がないとこの決済方式は使えないので、留学開始当初はとても困りました。



街の小さな餅子屋でも

このように、ほぼ全ての場面で使えるスマホ決済ですが、なぜかバスでは使用できませんでした。バスはお釣りを貰えないので、きっちりの金額で現金払いをするか、バスカードで支払うしかありませんでした。

毎回細かいお金を準備するのは若干面倒ですし、バスカードを購入、チャージするにはわざわざ遠くの営業所まで行く必要がありました。しかも、太原バスと晋中バスの二種類のバス会社があるのですが、共通バスカードではなく別々のため不便です。

しかし遂に、今夏頃から晋中バスにWeChat払いが導入され始め、今現在ほぼ全てのバスにスマホ決済の専用機器が設置されています。太原バスの方はまだまだなのですが、何台か設置されているバスを見たことがあるので、これから増えていくのではないかと思います。



バスのWeChat払い

益々便利になっていくスマホ決済ですが、唯一の心配は、スマホを紛失した場合どうになってしまうのだろうか、ということです。